

安全・安心ニュース No.45

大通コミュニティ協議会(総務)防犯 南区防犯協会大通支部

■ 令和3年中の特殊詐欺被害状況 (暫定値・新潟県警察調べ)

令和3年中の県内の特殊詐欺被害は、被害件数、被害額とも前年に比べ減少したものの、依然として被害総額が2億円を超える深刻な状況となっています。

被害の特徴としては、長引くコロナ情勢を反映してか、前年まで被害が多かった、犯人が被害者宅を訪れ、キャッシュカード等をだまし取る手口が減少し、電子マネーを購入させたり、ATMで振り込ませたりする非接触型の手口が増加しています。

また、被害全体に占める65歳以上の高齢者の割合が、令和2年中は71.5%だったのに対し、昨年は58.6%と低下しており、高齢者だけでなく、幅広い年代の方が被害に遭っています。

【県内における被害状況】

※新潟県警察統計資料に基づき作成

	令和3年中		令和2年中	
	被害件数	被害額	被害件数	被害額
総数	116件	2億2,508万円	144件	2億9,869万円
オレオレ詐欺	20件	2,284万円	12件	2,088万円
預貯金詐欺	7件	810万円	43件	4,445万円
架空料金請求詐欺	64件	1億6,855万円	51件	1億5,516万円
還付金詐欺	11件	850万円	6件	562万円
融資保証金詐欺	1件	397万円	8件	1,012万円
金融商品詐欺	3件	269万円	1件	2,700万円
ギャンブル詐欺	0件	0円	3件	85万円
交際あっせん詐欺	0件	0円	0件	0円
その他の特殊詐欺	0件	0円	0件	0円
キャッシュカード詐欺盗	10件	1,043万円	20件	3,461万円

▶最も被害が多かった「架空料金請求詐欺」

県内の特殊詐欺被害のうち、全体の約55%が架空料金請求詐欺で、特に40~60歳代の方の被害が多くなっています。

手口は様々ですが、メール等を通じて「有料動画の未納料金が発生しています。本日中にご連絡なき場合、法的手続きに移行します」等と、実在の事業者をかたる支払い通知が突然送られてくるケースが多くなっています。

そのほか、アダルト、出会い系サイトなどで一度クリックしただけで一方的に「契約完了」と表示される「ワンクリック詐欺」や、パソコン等の画面に「ウイルスに感染した」と警告を表示して不安をあおり、偽のサポート窓口で電話させるなどして金銭を要求する「サポート詐欺」の被害も報告されています。



◇ 慌てて電話やメールをしない

「問い合わせはこちら」などと書かれた番号に電話しない、URLをクリックしない。

◇ 身に覚えのない請求には応じない

絶対に支払わない。無視する。一人で解決しようと思わず誰かに相談する。

◇ 防犯機能付き電話を設置する

支払いの要求は電話で来ることが多いので迷惑電話をブロックできる対策も有効。